

No.154

暮らしに
役立つ!!

かいじ号

絶対に自分は大丈夫と思っている人、危険です
身近に潜んでいる詐欺被害!!

ニセ警察増えています! 警察を名乗る電話に注意!

事例

警察官を名乗る者から電話があり「あなたの口座が犯罪に使われている。口座を調査する。」などと言われて、ビデオ通話に誘導され、警察手帳のようなものを見せられた。その際、相手の指示に従い、住所や銀行口座等を伝え運転免許証を提示した。その後、金銭を振り込むよう指示され、言われるままに振り込んでしまった。



アドバイス

- ①警察がLINEのメッセージやビデオ通話等で連絡を取ることはありません。
- ②警察からと思われる電話でも、所属や担当者名を確認したうえで一度電話を切り、自分で調べた連絡先へ相談しましょう。
- ③警察庁推奨「特殊詐欺対策アプリ」(無料)を活用しましょう。詐欺電話の警告や危険な番号のブロック機能があります。iPhone・Android対応。偽アプリに注意し、公式ストアからダウンロードしましょう。
- ④固定電話は「国際電話不取扱受付センター」で、国際電話の発着信のみ休止できます(無料)。
※国内電話の発着信はこれまでどおり利用できます。

特殊詐欺対策アプリの
ダウンロードはこちら



絶対に儲かる!? SNS上の投資勧誘に注意!

事例

LINEで友達申請してきた人から、投資グループに誘われた。そのグループ内で「絶対に利益が出る海外FXの情報を入手して一緒に儲けよう!」と誘われ、海外FXの口座を開き、指定された個人名義の口座に50万円振り込んだ。FX口座内で倍以上の利益が出たので、約15万円の出金を申し出たところ、自分の銀行口座に入金された。信用できると思い、計700万円を振り込んだ。その後、50万円の出金を申し出たら「海外取引税として約160万円を振り込まないと出金できない」と言われ、不審に思い詐欺に気づいた。



アドバイス

- ①確実に儲かる話はありません。
- ②振込先に個人名義の口座を指定された場合は、詐欺の可能性が高いため、絶対に振り込まないでください。
- ③取引画面上では利益が出ているように見えても、画面自体が架空で、実際に取引されていません。

その警告画面は偽物! サポート詐欺に注意!

事例

パソコン使用中に「ウイルスに侵された」と警告画面が出て動かなくなった。電話番号が表示されていたので、電話をすると「遠隔操作で復旧させるのにサポート契約が必要」と言われた。契約のためには、コンビニで電子マネーを購入し番号が必要とのことで、5万円分購入し入力した。



アドバイス

- ①インターネット利用中に、突然警告画面や警告音が出たら、慌てず、まずは偽物ではないかと疑いましょう。
- ②表示された電話番号には絶対に連絡しないでください。
- ③自分で判断できない場合は、周りの人に相談しましょう。

かるたで学ぶ 消費生活トラブル(か行編)

く



く
ーリング・オフ
消費者を守る
大切な制度

契約後でも一定期間内なら無条件で解約できる場合があります。

か



か
い産物
注文してない
受け取らない

冷静な対応で送り付け商法を防ぎましょう。

け



け
い約書
細かいところも
見逃さない

契約前に内容をよく確認し、分からないことは必ず質問しましょう。

き



き
づきと
見守りで高齢者
の被害を防ぐ

普段と違う様子に気づいたら、優しく声をかけましょう。

かいくん



県民生活センター
に相談を
まった時は

早めの相談が解決への第一歩。
少しでも不安を感じたら相談を!

トラブルになった場合、不安がある場合には、一人で悩まず、県民生活センターや最寄りの消費生活センターにご相談ください

県民生活センター

消費生活相談(JA会館5階) ☎055-235-8455
〔地方相談室(南都留合同庁舎) ☎0554-45-5038〕

消費者ホットライン

☎188(いやや)

お近くの消費生活相談窓口へつながります



HP



X



FB



LINE



見守り犬「かい」くん